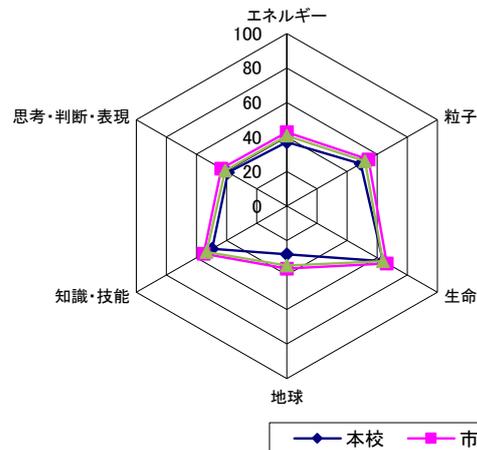


宇都宮市立城山中学校 第2学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類 | 区分 | 本年度 | | |
|-----|----------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 県 |
| 領域等 | エネルギー | 37.1 | 42.8 | 40.8 |
| | 粒子 | 49.1 | 54.2 | 52.0 |
| | 生命 | 63.9 | 66.4 | 63.8 |
| | 地球 | 27.9 | 36.2 | 34.5 |
| 観点 | 知識・技能 | 49.6 | 55.2 | 53.3 |
| | 思考・判断・表現 | 39.0 | 43.5 | 41.0 |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|-------|---|--|
| エネルギー | <p>○音の波形を比較して、音の高低や音の大きさを判断することは概ねできている。</p> <p>●ばねの長さからばねに加えた力の大きさを求めることができない生徒が多い。</p> | <p>・ばねののびは、ばねにはたらく力に比例し、ばねののびの長さから力の大きさを求められることを実験を通して指導する。</p> <p>・物体の質量と体積から求めた密度を比較することで、物体が同じ物質でできていることを実験を通して指導する。</p> |
| 粒子 | <p>○塩化ナトリウムの水へのとけ方の様子を粒子のモデルで理解することは、概ねできている。</p> <p>●硝酸カリウム水溶液の温度を下げた時に析出する硝酸カリウムを定量的に求めることができない生徒が多い。</p> | <p>・水溶液の温度を下げたり、水を蒸発させたりして、溶質を取り出す実験を通して指導する。また、溶解度曲線のグラフで水の温度を下げたときに析出する物質の質量を図解して説明する。</p> <p>・アンモニアの水に非常によくとける性質を利用した、アンモニアの噴水実験を動画資料で示す。また、匂いについては、匂いのかぎ方の方法を含め指導し、生徒に体験させる。</p> |
| 生命 | <p>○脊椎動物の子の生まれ方について、概ね理解できている。</p> <p>●植物の分類においてアブラナを分類するときに、単子葉類と双子葉類の見分け方として関連付けられない生徒がいる。</p> | <p>・学校敷地内の植物を具体的な教材として示し、実際に花のつくりを確認しながら、植物を分類する学習を行う。</p> <p>・裸子植物について、マツを中心に指導することに加え、イチヨウの特徴についても追加して指導する。</p> |
| 地球 | <p>○火成岩に含まれる造岩鉱物の名称や割合について、概ね理解できている。</p> <p>●河口からの距離に応じて堆積する粒子の大きさが違い、堆積する堆積岩の違いを理解できない生徒が多い。</p> | <p>・地震のゆれは、震央から同心円状に広がり、震源からの距離が長いほど初期微動継続時間も長くなることを作図を通して指導する。</p> <p>・河口に堆積するものを、空間的な広がりに関連付けて、れき・砂・泥が生物の遺骸を巻き込みながら堆積することを指導する。</p> |
| | | |